

## 平成 2 1 年度当初予算 施策別概要

### 3 3 3 地域とともに進める福祉 社会づくり

( 主担当部 : 健康福祉部 )

- 33301 地域福祉活動の推進 ( 健康福祉部 )
- 33302 ユニバーサルデザインのまちづくりの総合啓発 ( 健康福祉部 )
- 33303 福祉サービスの適正な確保 ( 健康福祉部 )
- 33304 福祉サービス利用援助の充実 ( 健康福祉部 )
- 33305 福祉分野の人材確保・養成 ( 健康福祉部 )

#### < 施策の目的 >

( 対象 ) 県民一人ひとりが

( 意図 ) 地域で助け合い、福祉サービスを支える行動をしている

< 施策の数値目標 > 20 年度実績値は 1 月末現在で把握できる見込み値を示しています。

施策目標項目 ( 主指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
ボランティア登録人数	目標値	-	54,911 人	58,041 人	61,171 人	64,300 人
	実績値	51,781 人	50,229 人			

県・市町ボランティアセンターに登録している人数

県の取組目標項目 ( 副指標 )		H18 年度	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
民生委員・児童委員研修参加率	目標値	-	77.3%	80.2%	83.1%	86.0%
	実績値	74.3%	77.3%			
ユニバーサルデザインアドバイザー数 ( 累計 )	目標値	-	845 人	905 人	965 人	1,025 人
	実績値	785 人	859 人	946 人		

#### < 進捗状況 ( 現状と課題 ) >

- ・ 県民の多種多様な福祉ニーズに対応するためには、公的制度だけでは難しく、ボランティア等のインフォーマルサービスが重要となります。このため、県内でボランティアとして登録する人数の増加を促進することが必要となっています。
- ・ 社会福祉を取り巻く状況の変化に伴い、福祉・介護ニーズが増大するとともに、質的にも多様化高度化する中、賃金面等厳しい労働条件や、他産業の採用意欲の高まりなどにより、介護サービスを中心に福祉サービスに携わる人材の確保・育成が大きな課題となっています。
- ・ ユニバーサルデザイン ( U D ) のまちづくりの一層の推進に向け、地域の団体や企業等による自主的な取組が求められています。
- ・ 指導監査の対象となる社会福祉法人、施設、事業所等が著しく増加するとともに、事業所の取り消しなど問題事象も発生しています。効率的、効果的な指導監査の実施が課題です。
- ・ 福祉サービスの利用援助等の生活支援により、認知症高齢者や障がい者が安心して地域生活を送れる環境づくりが必要となっており、高齢化の進行等により対象者が毎年増加する中、効果的、効率的な事業の実施が求められています。
- ・ 厳しい雇用情勢の中、福祉・介護現場は人手不足の状況にあり、人材の確保・定着が喫緊の課題となっています。このため、雇用部門と連携し、情報の集約・提供を行ったうえで、生活支援、就労支援、雇用支援について、総合的に取り組む必要があります。

## <平成21年度の取組方向>

県・市町社会福祉協議会をはじめとする関係団体や民生委員・児童委員の活動を支援します。また、ボランティア登録人数の増加を図るよう、市町、社会福祉協議会等の関係機関とより一層の連携を図り、ボランティア養成等の取組を促進し、計画に沿った登録人数の確保に努めます。

福祉・介護サービスを担う人材の確保・育成を図るため、高齢者施設等関係機関と連携して、複数事業所の連携による求人活用や福祉・介護人材の参入促進のための相談・助言を行うなど、福祉人材センターの取組を充実させます。

また、離職者等に対し、福祉・就労等に関する総合的な情報提供を行うとともに、研修等を行い福祉・介護職場への雇用・定着につなげます。

若い人材の福祉・介護分野への参入を促進するため、介護福祉士等養成施設に修学する学生を支援します。

条例に基づき設置するユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会等の意見を反映しながら普及啓発に取り組みます。また、地域のUD団体や市町との協働により地域に根ざした取組の推進を図ります。

定期的な指導監査の効率化をはかるとともに、重点監査項目を定め、メリハリがあり実効性の伴った指導監査を実施し、運営に課題のある法人等を優先して実地指導監査を行います。また、「みえ福祉第三者評価制度」の更なる普及啓発に努めます。

判断能力の十分でない認知症高齢者や障がい者等が、適切な福祉サービス利用援助等を受けられるよう地域福祉権利擁護事業の周知をはかるとともに支援を行います。また、実施については、主体である三重県社会福祉協議会と今後の事業のあり方等について継続して協議します。

## <主な事業>

ボランティアセンター事業費補助金【基本事業名：33301 地域福祉活動の推進】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1社会福祉総務費)

予算額：(20) 12,978千円 (21) 9,481千円

事業概要： ボランティア活動の一層の活性化をはかるため、県社会福祉協議会が行う福祉教育推進、ボランティアコーディネーター養成(6回)、広報啓発事業等を支援します。

(新)福祉・介護人材確保緊急支援事業【基本事業名：33305 福祉分野の人材確保・養成】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1社会福祉総務費)

予算額：(20) - 千円 (21) 83,241千円

事業概要： 福祉人材の確保を図るため、国の緊急対策を活用し、福祉・介護の仕事をめざす学生等を支援するなど、福祉人材確保対策の充実・強化を図ります。  
(主な取組 進路選択学生等支援事業、潜在的有資格者等養成支援など)

(新)福祉人材確保マッチングモデル事業【基本事業名：33305 福祉分野の人材確保・養成】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1社会福祉総務費)

予算額：(20) - 千円 (21) 2,210千円

事業概要： 喫緊の課題となっている福祉職場の人材不足、及び昨今の雇用状況の悪化を受け、福祉職場における求人・求職のマッチングの状況を改善するため、県内の複数事業所の参加を得て、合同試験や採用後のフォロー等を行う「福祉人材マッチングモデル事業」を実施し、福祉職場における人材確保・定着を推進します。  
(参加予定事業所：給与等の一定の参加要件をクリアした事業所 約20事業所)

(新) 離職者対策職業・生活相談支援緊急雇用創出事業

【基本事業名：33305 福祉分野の人材確保・養成】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) - 千円 (21) 12,866千円

事業概要： 福祉職場への就労や生活支援に関する情報集約・提供を行う総合案内窓口を設置し、離職者等を対象に福祉職場への就労を支援します。

(一部新) 介護福祉士等修学資金貸付事業【(33305) 福祉分野の人材確保・養成】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) 718千円 521千円

(351, 521千円 H20年度2月補正含みベース)

事業概要： 若い人材の福祉・介護分野への参入促進を図るため、介護福祉士等養成施設に入学する学生に対し修学資金の貸付を行う事業に補助を行います。(三重県社会福祉協議会に補助金交付予定)

UDのまちづくり展開事業

【基本事業名：33302 ユニバーサルデザインのまちづくりの総合啓発】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) 6,530千円 (21) 7,432千円

事業概要： 県民へのユニバーサルデザインの理念の普及と活動の地域展開を図るため、市町、団体、民間事業者、県民と協働し、UDのまちづくりの実現を目指した取組を進めます。

社会福祉法人等指導監査事業【基本事業名：33303 福祉サービスの適正な確保】

(第3款 民生費 第3項 生活保護費 1 生活保護総務費)

予算額：(20) 5,962千円 (21) 5,648千円

事業概要： 社会福祉法人の適正な運営、社会福祉施設及び社会福祉事業(介護保険事業、自立支援事業を含む。)による適切なサービス提供の確保に向け、法人及び施設等に対し、指導監査及び実地指導や集団指導を実施します。

地域福祉権利擁護事業補助金【基本事業名：33304 福祉サービス利用援助の充実】

(第3款 民生費 第1項 社会福祉費 1 社会福祉総務費)

予算額：(20) 72,473千円 (21) 75,473千円

事業概要： 判断能力が十分でない認知症高齢者や知的障がい者等が、地域で適切に福祉サービスが受けられるよう援助するため、広域行政圏の基幹的な市社会福祉協議会に設置する地域権利擁護センターの運営を支援します。(基幹的社協1箇所増設予定)